

2019年度進学相談会 看護専門学校を選択するとは

♡ 看護専門学校の魅力って、なに？ ♡

2019年7月6日(土)

大阪府看護学校協議会・大阪府看護協会共催 後援：大阪府

今日の内容

1. 看護師になるには
2. 看護師になるためにどんな勉強をするの？
3. 国家試験の合格率と卒業後の進路について
4. 学費や奨学金について
5. 看護師を目指し進学するみなさんへ

看護師になるには



看護教育制度図(概念図) 平成30年

＜平成31年合格者数＞
 保健師 6,852人
 助産師 2,096人
 看護師 56,767人
 准看護師 16,910人
 (うち准看護師学校養成所
 卒業者は9,217人)

保健師・助産師国家試験受験資格

保健師養成所・大学院・短大専攻科 34校 911人 (1学年定員)

助産師養成所・大学院・大学専攻科/別科・短大専攻科 123校 1,867人 (1学年定員)

看護師国家試験受験資格

保健師課程

助産師課程

1年
以上

4年制大学

280校
23,840人
(1学年定員)

35.0%

養成期間3年以上の
養成所・短大

581校 30,192人 (1学年定員)
44.3%

高校・
高校専攻科
5年一貫
教育校

78校
4,239人
(1学年定員)

6.2%

養成期間2年の
養成所・短大等
151校 6,255人
(1学年定員)

9.2%

2年通信制
17校
3,580人
(1学年定員)

5.3%

3年以上の
実務経験又は
高等学校等卒業者

7年以上の
実務経験

准看護師試験受験資格

准看護師養成所・高校
※養成所は2年、高校は3年

228校 10,021人 (1学年定員)

高等学校卒業

中学卒業

看護教育制度図(概念図) 平成30年

＜平成31年合格者数＞
 保健師 6,852人
 助産師 2,096人
 看護師 56,767人
 准看護師 16,910人
 (うち准看護師学校養成所
 卒業者は9,217人)

保健師・助産師国家試験受験資格

保健師養成所・大学院・短大専攻科 34校 911人 (1学年定員)

助産師養成所・大学院・大学専攻科/別科・短大専攻科 123校 1,867人 (1学年定員)

看護師国家試験受験資格

保健師課程

助産師課程

4年制大学

280校
23,840人
(1学年定員)

35.0%

養成期間3年以上の
養成所・短大

581校 30,192人 (1学年定員)
44.3%

高等学校卒業

中学卒業

高校・
高校専攻科
5年一貫
教育校

78校
4,239人
(1学年定員)

6.2%

養成期間2年の
養成所・短大等
151校 6,255人
(1学年定員)

9.2%

2年通信制
17校
3,580人
(1学年定員)

5.3%

3年以上の
実務経験又は
高等学校等卒業者

7年以上の
実務経験

准看護師試験受験資格

准看護師養成所・高校
※養成所は2年、高校は3年

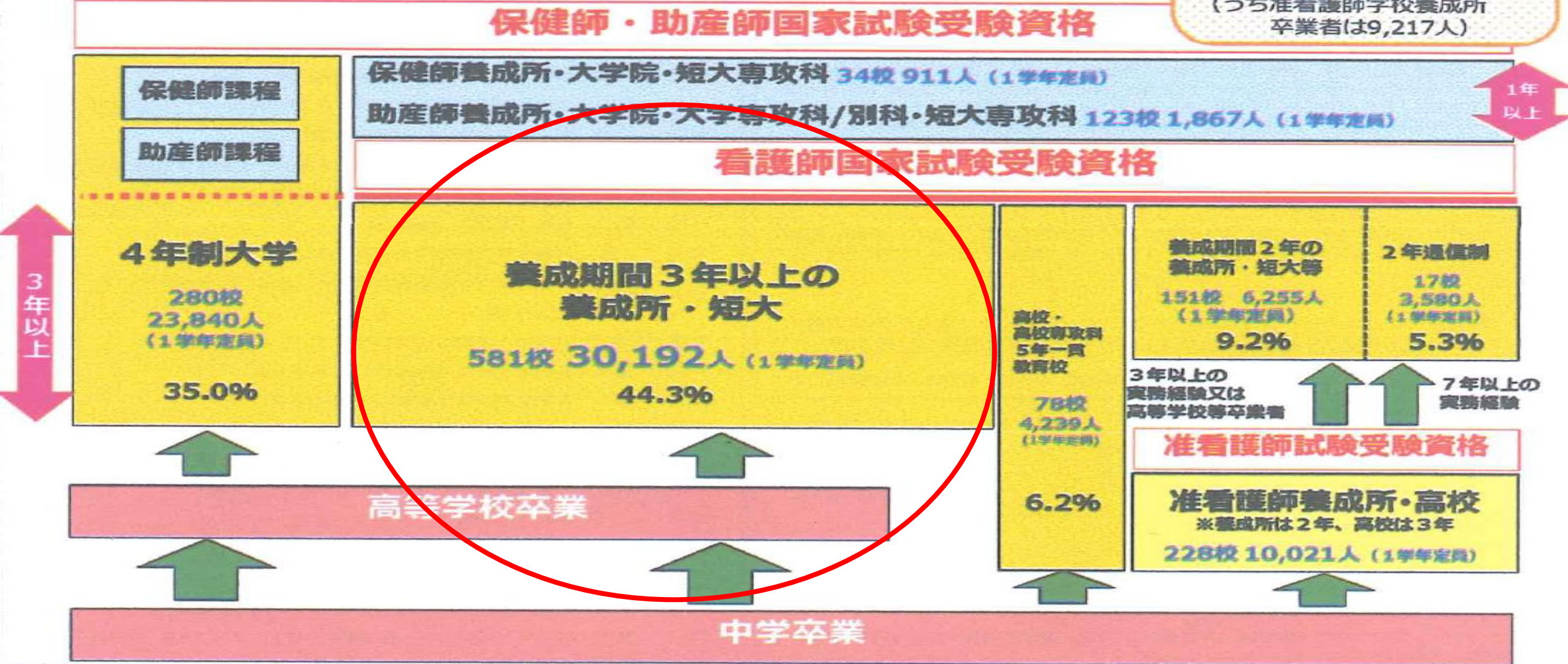
228校 10,021人 (1学年定員)

大 学 （卒業時の学位：学士）

- 卒業必修単位数：126単位
- 一般教養が充実。幅広い視野にたった学習が可能
- 大学院に進学し、専門的な学問・研究に取り組むことも可能。
 - *卒業時取得可能資格：看護師国家試験受験資格
 - *履修形態により保健師・助産師国家試験受験資格も可能

看護教育制度図(概念図) 平成30年

＜平成31年合格者数＞
保健師 6,852人
助産師 2,096人
看護師 56,767人
准看護師 16,910人
(うち准看護師学校養成所
卒業者は9,217人)



専門学校（卒業時称号：専門士・高度専門士）

●卒業必修単位：97単位(統合カリキュラム122単位)
以上

●現場での実践力を養う教育に比重がおかれている。

●大学等への編入も可能

＊卒業時取得可能資格：

看護師国家試験受験資格 助産師・保健師教育課程進学資格

保健師国家試験受験資格（統合カリキュラム）

短期大学

（卒業時の称号：準学士・短期大学士）

- 卒業必修単位：97単位
- 大学への編入が可能。

＊卒業時取得可能資格：看護師国家試験受験資格
助産師・保健師教育課程進学資格

看護教育制度図(概念図) 平成30年

＜平成31年合格者数＞
 保健師 6,852人
 助産師 2,096人
 看護師 56,767人
 准看護師 16,910人
 (うち准看護師学校養成所
 卒業者は9,217人)

保健師・助産師国家試験受験資格

保健師養成所・大学院・短大専攻科 34校 911人 (1学年定員)

助産師養成所・大学院・大学専攻科/別科・短大専攻科 123校 1,867人 (1学年定員)

看護師国家試験受験資格

保健師課程

助産師課程

4年制大学

280校
23,840人
(1学年定員)

35.0%

養成期間3年以上の
養成所・短大

581校 30,192人 (1学年定員)
44.3%

養成期間2年の
養成所・短大等
151校 6,255人
(1学年定員)
9.2%

2年通信制
17校
3,580人
(1学年定員)
5.3%

高校・
高校専攻科
5年一貫
教育校

78校
4,239人
(1学年定員)
6.2%

3年以上の
実務経験又は
高等学校等卒業者

7年以上の
実務経験

准看護師試験受験資格

准看護師養成所・高校
※養成所は2年、高校は3年

228校 10,021人 (1学年定員)

高等学校卒業

中学卒業

准看護師 (卒業時の称号なし)

- 准看護師養成所（2年） ・ 高等学校衛生看護科（3年） に入学
(入学資格: 中学校卒業)
- 1890時間
- 卒業時取得可能資格： 准看護師資格試験受験資格
★免許： 都道府県知事★
2年課程 ・ 専攻科進学資格

専門学校（2年課程）

（卒業時称号：専門士

短期大学の場合、準学士・短期大学士）

- 准看護師免許取得後に進学する課程。短期大学や通信制(入学要件有)もある。
- 卒業必修単位：72単位
- 修業期間2年（定時制は3年）で看護師国家試験の受験資格が得られる。
- 現場での実践力を養う教育に比重がおかれている。
- 大学編入等も可能

＊卒業時取得可能資格：看護師国家試験受験資格

助産師・保健師教育課程進学資格

看護師と准看護師の違い

項目	看護師	准看護師
進学方法	看護専門学校：3(4)年間 看護大学：4年間	准看護師養成所：2年間
資格	国家資格(国家試験)	都道府県知事資格(地方試験)
資格試験日	2月	2月
就職先	公立病院、大学病院、総合病院などが多い	民間病院、診療所(医院)、施設などが多い
キャリアアップ	部長、師長、主任. 専門・認定・特定看護師等	
仕事内容	自らの意思、判断で看護を行う	医師、歯科医師、看護師の指示の元、看護を行う
給与水準	看護師＞准看護師	

各教育課程の比較

	大学	短大	3年課程	2年課程	准看護師 養成所
修業期間	4年	3年	3年or4年	2年or3年	2年
所轄	文部科学省	文部科学省	厚生労働省 (文科省もあり)	厚生労働省 (文科省もあり)	厚生労働省
単位	126	97	97~128	72	1890 時間
称号	学士	準学士 (短期大学士)	3年：専門士 4年：高度専門士	専門士	—
資格	国家資格	国家資格	国家資格	国家資格	都道府県知 事

	大学	専門学校
看護	学問色が強い所も？！	実践者の育成
経済面	費用が高いことが多い	大学より安価 奨学金の多様性
給与	大学 $\geq$ 3年課程	3年課程 $\geq$ 2年課程 $\geq$ 准看護師養成所
就職 キャリアアップ	学歴アップや様々な資格 取得可 就職希望に制限は無い	資格によっては学歴が問われることや就職に制限がある

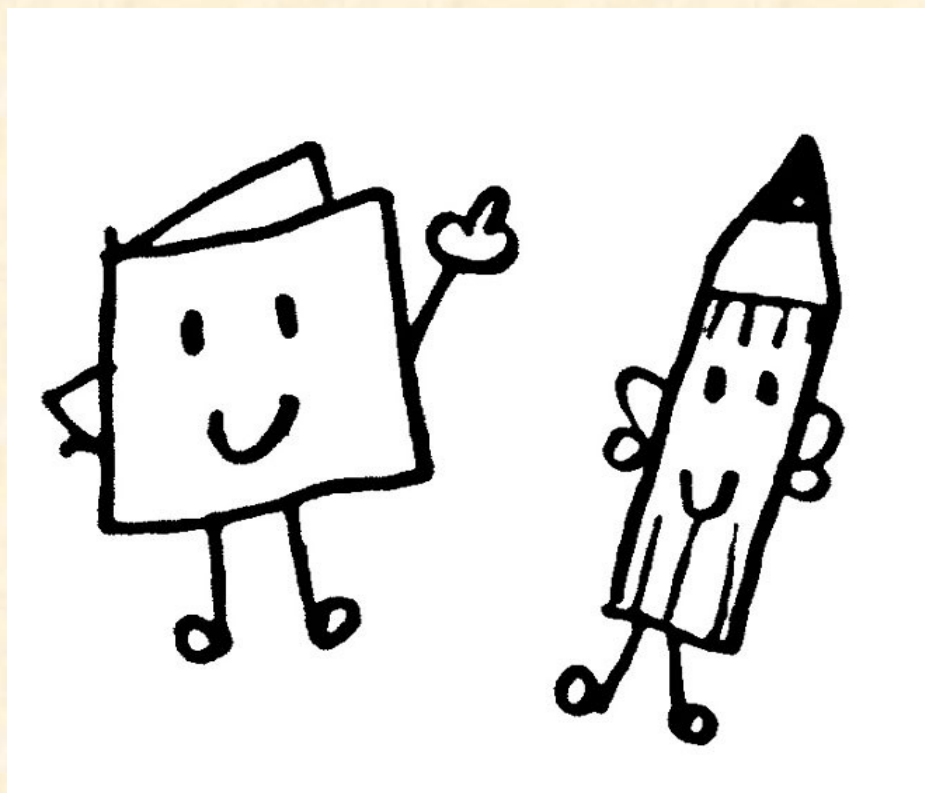
特徴をよく理解して選択しないと、こんなはずじゃなかった・・・となる危険性！

親御さんの「手に職を」という強い希望等、本人が希望しての進路選択でない場合、途中でリタイアしてしまう確立が高い。「勉強が大変」「こんな仕事と思ってなかった」・・・

コミュニケーションが苦手、その場の雰囲気を読み取るのが苦手、文章を組み立てたり文章を読んでその意味や意図が理解できにくい等は、入学後に相應の努力が求められます。

看護師になるために

どんな勉強をするの？



看護師教育課程

基礎分野

専門基礎分野

専門分野 I ・ II

統合分野

教育内容		単位数	
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	}	1 3
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 健康支援と社会保障制度		1 5 6
専門分野Ⅰ	基礎看護学 臨地実習 基礎看護学		1 0 3
専門分野Ⅱ	成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 臨地実習 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学		6 4 4 4 4 6 4 2 2 2
統合分野	在宅看護論 看護の統合と実践 臨地実習 在宅看護論 看護の統合と実践		4 4 2 2
合 計		18	9 7

基礎分野（科目）

科学的思考の基盤

論理学 情報科学（IT） 化学

統計学 生物学

人間の生活・社会の理解

コミュニケーション論 心理学 社会学

芸術関係 教育学 倫理学 などなど

専門基礎分野（科目）

人体の構造と機能

解剖学・生理学・生化学・栄養学

疾病（病気）の成り立ちと回復の促進

微生物学・薬理学・病理学・病態学

健康支援と社会保障制度

社会福祉学・公衆衛生学・関係法規

総合医療論

などなど

専門分野（科目）

専門分野Ⅰ

基礎看護学

専門分野Ⅱ

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

統合分野（科目）

在宅看護論

看護の統合と実践

臨地実習

講義と演習と実習の違い

講義：教室で教科書や資料を用いながら授業を受けたり、グループワークをする。

演習：デモンストレーション（見本）やビデオをみて、実際に近い状況で自分たちでやってみる。

実習：実際の場所（臨地）で、対象者（患者様）の協力を得て、講義や演習で習得したことを用いて、学ばせていただく。

国家試験の合格率と 卒業後の進路について



2018年度新卒者国家試験合格率

		受験者数	合格者数	合格率
3 年 課 程	大 学	21018	20382	97.0
	短期大学	1390	1274	91.7
	養成所	24421	23311	95.5
2 年 課 程	短期大学	101	80	79.2
	養成所	4591	4364	95.1
	高等学校専攻科	230	213	92.6
	通信制	2602	2074	79.7
	高校・高校専攻 科（5年一貫）	3471	3261	93.9

卒業後の進路

看護師としてのキャリアアップは色々あります

卒業

病院等に就職
(臨床経験)

大学院(修士)
に進学

大学・短大の
教員

看護系
教育機関

大学院(博士)
に進学

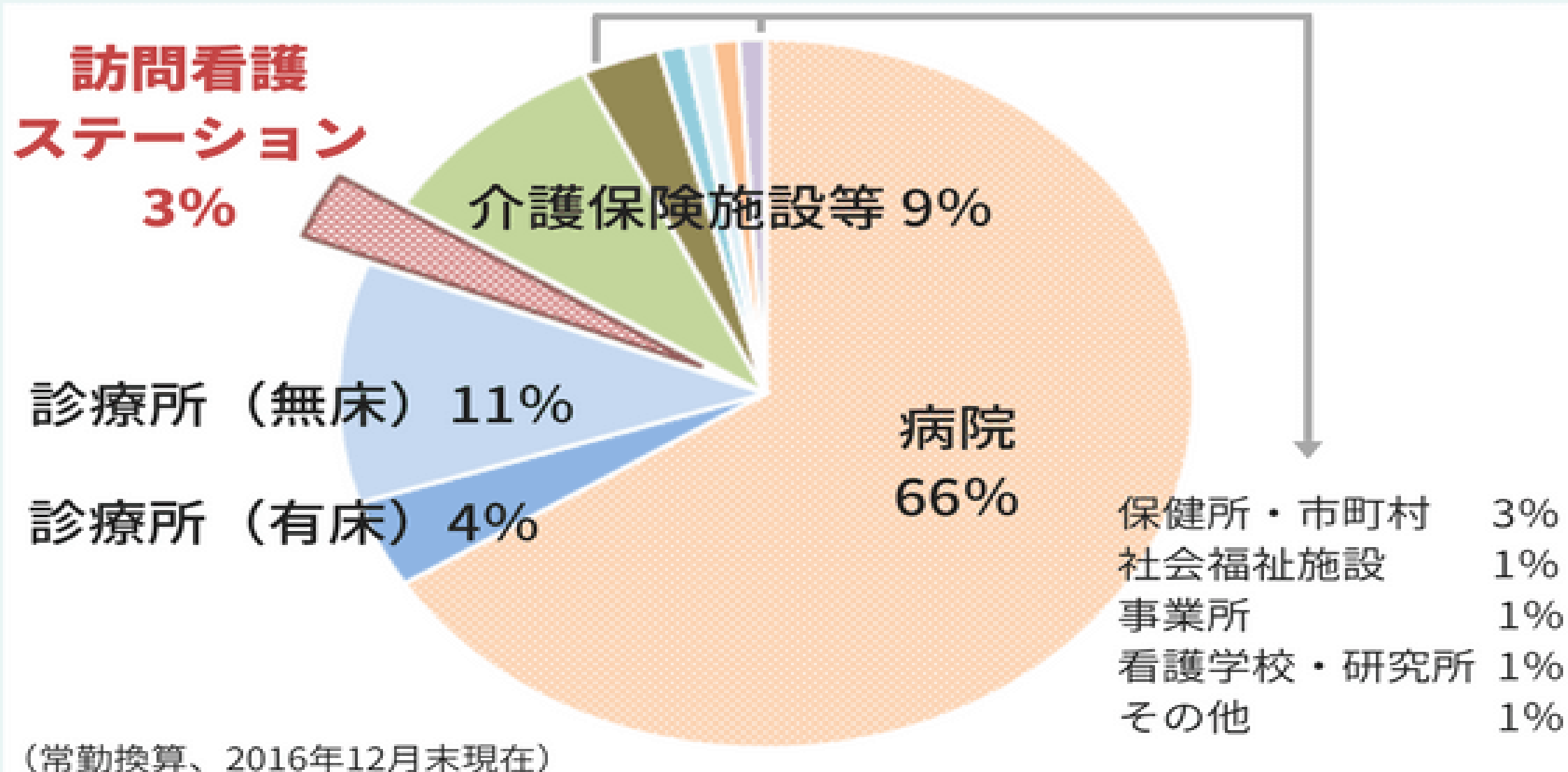
専門学校の
教員

認定看護師

専門看護師

産業看護師、国際看護
師、訪問看護師、
ケアマネージャー等

看護職員の就業場所



看護職としてのステップアップ

副院長兼看護部長等

ステップアップ

看護部長、局長等：看護部門をまとめる人

看護師長：各部署の看護師をまとめる人

看護主任：看護師長の補佐役

教育係等

看護師

専門看護師、認定看護師、
特定看護師など
も・・・

学費や奨学金について



奨学金について

《種類》

- 日本学生支援機構等、公的なもの
- 病院（インターンシップなど）
- 学校独自のもの 等々

～返済型・貸与型・給付型～

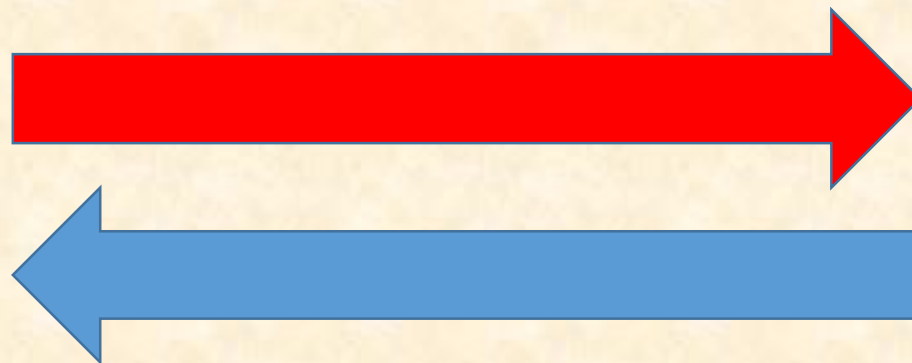
病院が奨学金制度を設けている目的

- マンパワー不足を解消したい、あるいは有能な人材を確保・採用したいという**先行投資**である。
- 国の奨学金等の**公的**な奨学金とは性質が異なる。
- 病院奨学金の貸与は施設（病院）と契約者間の関係である。学校は奨学金について関与は基本的にできない。

例1

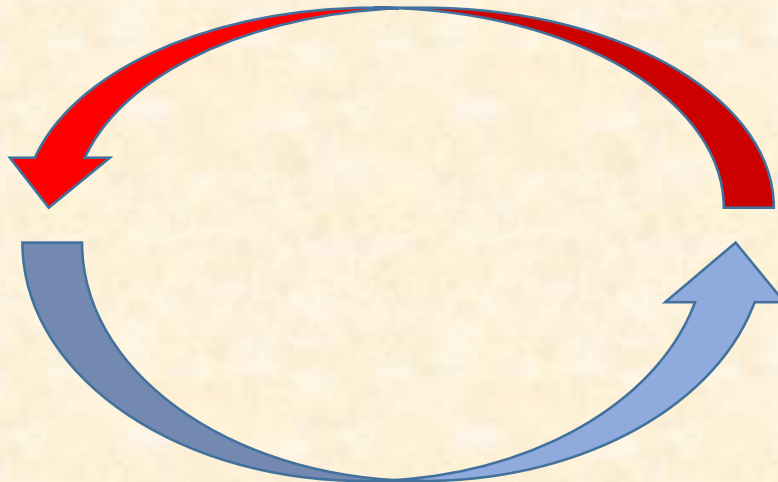
インターンシップを利用して奨学金を病院から受ける。
年間60万円を借りる（期間は、奨学生として当該病院に認可されれば1～3年の中で選択できる）。
奨学金の額は病院によって違う。

卒業後、当該病院規定による年数を勤務すると返済義務がなくなることが多い。中途退職の場合、その時点での返却金額を返還しなければならない。



例2

入学した学校の設置主体が病院の場合、入学金及びテキスト代以外は奨学金貸与として自己負担0か、あるいは限りなく0に近く、修学にかかる費用を病院が負担する。貸与は希望制である。卒業後は奨学金を受けた病院で勤務することを求められることが多い。



例3

准看護学校や2年課程の定時制などの多くは（病院）勤務しながら修学する形態が多い。この時点から卒業後に就職する病院が決定している形となり、勤務病院の規定によっては学校にかかる費用は全て出してくれるといったこともある。

卒業後は、奨学金を出して貰った病院で規定に沿った期間を勤務することが求められる。



例4

入学時の成績、各年度末の席次によって、学校や設置主体の病院が給付型、あるいは勤務義務のある（奨学金を受けた額や年数によって変わる）奨学金制度を設けている。



学生Aの場合・・・看護専門学校3年課程

【入学時】 入学金・1年次前期授業料・施設協力金など（120万）

⇒ 国の教育ローン（日本政策金融公庫【固定金利】）を利用。

国の教育ローン：学費のみならず、一人暮らしのための初期費用や学習に必要なPC購入代等も使用目的として認められる。1人350万利用可）

【入学後】 高校在学中に予約しておいた第2種奨学金（10万/月）を、
1年次後期からの学費に充てる。（総借入額360万円）

しかし、テキスト代等その他の必要経費が国の奨学金だけでは不足し、インターンシップを活用して年間60万の奨学金を受ける。

それでも不足する分は、教育ローンを追加で借りたり生活費節約によって充填する。

学生Bの場合・・・病院附属看護専門学校3年課程

【入学時】

入学金、管理運営費、授業料、教材費、実習費、ユニフォーム代等は、設置主体病院の奨学金を受け、テキスト代のみ負担

【在学中】

3万円/月を貸与される。

【卒業後】

病院規定により3年就業して奨学金返却義務はなくなった。

学生Cの場合・・・4年制の看護専門学校

【在学中～就活時】

看護学校3年次、就職活動後内定が決定した病院から「4年次は国家試験前の大事な時期、アルバイトとかししないで。お小遣いとして60万渡すから」と言われた。国家試験不合格だったり、当該病院が指定する時期を勤務せずに退職した場合は返却の義務が生じると説明は受ける。

学生Dの場合・・・准看護師養成所入学

【入学時】

入学金をはじめとして、この時点で必要な費用を全て勤務病院が奨学金として負担してくれる。

【在学中】

勤務しながら給与を受け取る。学生手当てとして3万/月貸与。在学中にかかる予防接種費用や感染症対策も全て勤務病院が負担する。

【卒業後】

病院規定により2年就業したため、奨学金返却義務はなくなった。
2年課程に新卒で進学する場合、返却猶予あり。

看護師を目指し進学するみなさんへ



入試の動向について 1

【入試の内容】

- 入試科目に大きな変更は無い。（推薦と一般では違いがある）
- 入試日程は繰り上げられる傾向も。
- 推薦の場合：指定校推薦、公募推薦、専願については、優秀な学生を早期に確保する目的で実施している。推薦条件（成績基準や卒後年数、欠席日数等）を確認していただきたい。

【男子学生の受け入れ】

- 施設差はあるが、受け入れ可能学校では増加傾向である。
（40人定員で2人～16人と施設差がある。）

入試の動向について 2

- 前年度に倍率が高い学校は、翌年の倍率が下がる傾向にある。
- 安定した入学試験の倍率を維持している学校は、学費・就学中の経費や交通の便、カリキュラムに特徴があるなどが影響していると思われる。
- 社会人入試は一般入試とは試験科目に違いがあり、合否判定基準もそれぞれの学校で違いがある。

2020年度の入試の予測は・・・

★入学試験の時期は大学入試に対応して早まる。

★大学との併願者は少なくなっている。

（看護大学が増え、大学に入学しやすくなり、早期に大学合格が決定し専門学校を受験しない）等が予想される。

最後に・・・

看護師を目指す人、進路指導の先生にお願いしたいこと

- ★看護の仕事について理解できていなかったり、ご両親の思いが強すぎて進学した場合、退学・転学する学生が多い傾向にある。
- ★大学の他学部、あるいは他の専門学校に比べると課題がかなり多く、アルバイトやサークル活動などの時間がもちにくい。
- ★生徒に伝えて欲しいこと（進路指導の先生方へのお願い）
希望する進学先をしっかりと情報収集し、自分が看護師国家資格を取得するのにどういう教育(大学？専門学校？等)を受けるのが望ましいか考える。
また、看護師になった後のキャリアマネジメントまで考えておく。
看護の仕事がどういうもので、どういうフィールドで活躍するものかを調べておく。

ご静聴ありがとうございました

